

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・人事交流の連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解消を促進されたい。 	<p>「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に示した「盛岡広域圏の中長期的な将来像」を達成するためには、広域圏全体と構成各市町の特長を生かしながら、経済成長や都市機能の強化、生活関連サービスの向上といったメリットの相互共有を図る必要があると存じておりますことから、各分野にわたる計画事業の着実な実施に向けて、関係市町との連携をより一層深めてまいります。</p> <p>また、県と市の二重行政の解消につきましては、他都市での取組状況等を参考にしながら、引き続き、研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課都市戦略室）</p> <p>〔人事交流については、総務部で回答〕</p>
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 	<p>地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。</p> <p>今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課，総務部職員課）</p>
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 国体以降の活性化として世界アルペン大会や冬季アジア大会、NHKフィギア大会など冬季スポーツ大会誘致を促進されたい。冬季五輪招致のための調査をされたい。 	<p>〔市民部で回答〕</p>
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会議場の設置および国際会議の実績を積んで頂きたい。ILC誘致の効果が仙台市に流れないようにされたい。 	<p>〔前段は、商工観光部で回答〕</p> <p>現在、「ILC誘致実現を見据えた国際化のまちづくり」に関する外部有識者会議を開催するなど、ILC誘致による波及効果を高めるための施策の取りまとめに着手しているところで</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <p>・ 30カ年での都市構想や、単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。</p>	<p>あり、今後も引き続き、有効な施策の展開に向けて努めてまいりたいと存じます。 (国際リニアコライダー推進事務局)</p> <p>総合計画の基本構想の策定に当たっては、平成52年までの長期にわたる人口推計を行うとともに、社会の潮流や普遍的な本市の特徴や魅力を踏まえ、10年以上先を見通すなど、長期的視点に立ちながら策定しておりますが、施策の中には、子育て支援や高齢化社会への対応など、短期的な目標を定め取り組むものがある一方、土地政策やインフラ整備など、20年から30年先を目標にしながら取り組む領域もあるものと存じておりますことから、各部門別において策定する個別計画や施策の立案に際しても、総合計画の方向性を踏まえるとともに、必要に応じて長期的な視点を見据えながら取り組んでまいります。 (市長公室企画調整課)</p>
<p style="text-align: right;">P 1</p> <p>・ 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、その効果を熟慮した上で事業選択を行っていただきたい。</p>	<p>「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進につきましては、取組の実効性を確保する観点から、成果指標等の目標を設定し、毎年、改善を図るPDCA（計画－実施－評価－改善）サイクルにより進行管理を行うほか、外部有識者等からの意見を聴取するなど、その効果を把握・検証しながら、事業の見直しを行っており、今後におきましても、さらなる効果の創出に向けて取り組んでまいります。 (市長公室企画調整課)</p>
<p style="text-align: right;">P 1</p> <p>・ 県と市の連携による施設の合築を促進されたい。</p>	<p>[財政部で回答]</p>
<p>【商工観光部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <p>・ 石川啄木を通じた、函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。</p>	<p>本市は、函館市とは「啄木かるた大会」を相互に開催しておりますし、東京都文京区とは平成24年7月に「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を締結するなど、両都市とは、「啄木」を縁とした交流を進めております。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成30年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	<p>29年度については、函館市におきましては、本市教育長が「函館市文学館」を訪問するなど、文化レベルでの交流を深めているほか、文京区におきましては、成澤廣修文京区長を盛岡に招待し、啄木ゆかりの地の訪問やさんさパレードに参加いただくなど、交流を図っているところであります。</p> <p>今後、函館市、文京区とは、「啄木」を縁に、人的・物的な交流を促進し、更なる連携・友好関係を築くよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課，教育委員会事務局歴史文化課）</p>